

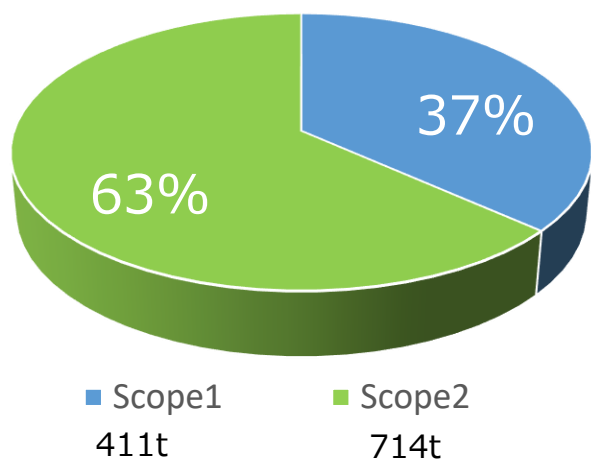
2022年度SBT（温室効果ガス排出削減目標）レポート

KDCは、人にも環境にも優しい企業を目指し事業活動と地球環境の両立、さらには住みよい地球を実現するために、未来にわたる生活の場である地球環境を保全し持続可能な社会づくりに貢献します。

KDCはお客様が求めるサプライチェーンの一員として、2022年5月に中小企業版SBT（SMEs）※1認定を受け、温室効果ガス排出量を2030年までに2020年比42%削減する目標（排出量652t）を設定し活動を開始しました。

※温室効果ガスの定義：大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどのガスの総称

1.基準年度（2020年度）における Scope別温室効果ガス（CO₂）排出量内訳



※1『Science Based Targets (SBT) 』

パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標の事であり 2015年に設立し、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が共同で運営。

中小企業版SBT（SMEs）は、(SBT(Science Based Targets) for Small and Medium Enterprises) の略称であり、従業員500名未満の企業が認定を受ける事が可能。中小企業版SBTの報告については、Scope1,2のみ。(Scope3については対象外)

Scope1 燃料の燃焼など、自らによる温室効果ガスの直接排出
 Scope2 他者から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 Scope3 サプライチェーンにおけるその他間接排出

2.各拠点別、温室効果ガス排出量内訳（2022年度）

		本社御幣島センター	東京支店	東天満オフィス	鳥栖センター
電気	Scope2	762.7	7.8	14.0	25.2
都市ガス	Scope1	349.2	-	-	22.9
ガソリン	Scope1	1.0	-	-	-

3.2022年度のKDCにおける温室効果ガス排出状況

2021年度に設備投資によりCO₂排出量が約80t増加し、1198tとなりました。2022年11月から本社御幣島センターにおいて電力の一部をCO₂フリー電力に転換した結果、1182tとなり2021年度より16t削減しました。引き続き本社御幣島センターの電力をCO₂フリー電力に転換するなどの施策を実施し、目標の42%削減に向けて取り組んでまいります。

